

平成 21 年
12 月 24 日

病害虫発生予報 1 月号

茨城県病害虫防除所
茨城県植物防疫協会

全ての農作物に残留農薬基準が設定されています！！

薬剤散布の際は周辺作物へ飛散しないよう十分注意しましょう

< 目 次 >

・ 今月の予報

【注意すべき病害虫】

イチゴ：うどんこ病 1

促成キュウリ：うどんこ病 1

【その他の病害虫】 2

イチゴ・促成ピーマン・促成トマト・促成キュウリ

・ 病害虫ミニ情報

平成 22 年版果樹等病害虫参考防除例の改正点について 3

・ 今月の気象予報 6

・ テレホンサービス 6

029(226)5321

農薬登録速報については、農林水産省ホームページ「農薬コーナー」

<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/index.html> 内の登録速報を参照してください。

詳しくは、病害虫防除所へお問い合わせ下さい。

茨城県病害虫防除所 Tel :029-227-2445

予報内容は、ホームページでも詳しくご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/>

. 今月の予報

【注意すべき病害虫】

イチゴ

1. うどんこ病

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
	やや多い	県下全域

[予報の根拠]

12月中旬現在、発病果率は平年よりやや高い。

気象予報によると、向こう1か月の気温および降水量は平年並、日照時間は多いと予想されている。

[防除上注意すべき事項]

発生が多くなると防除が困難になるため、初期防除を徹底する。

罹病部は新たな伝染源となるため、できるだけ取り除き、ハウス外に持ち出して処分する。

薬剤は、薬液が葉裏や葉柄にもよくかかるよう十分な量で、丁寧に散布する。また、薬剤耐性菌の出現を防ぐため、系統の異なる薬剤を散布する。

ミツバチ導入後は、ミツバチに影響する薬剤もあるので、十分注意する。

薬剤によっては、薬害や果実の汚れを生じるものもあるので、使用にあたっては十分に注意する。

促成キュウリ

1. うどんこ病

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
	やや多い	県下全域

[予報の根拠]

12月中旬現在、発病葉率は平年より高く、発生地点率は平年並である。

気象予報によると、向こう1か月の気温および降水量は平年並、日照時間は多いと予想されている。

[防除上注意すべき事項]

発生が多くなると防除が困難になるため、初期防除を徹底する。

罹病部は新たな伝染源となるため、できるだけ取り除き、ハウス外に持ち出して処分する。

薬剤は、薬液が葉裏や葉柄にもよくかかるよう十分な量で、丁寧に散布する。また、薬剤耐性菌の出現を防ぐため、系統の異なる薬剤を散布する。

【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想	発生概況及び注意すべき事項
イチゴ	ハダニ類	発生量：やや多い	12月中旬現在，平年よりやや多い発生である。
促成ピーマン	アザミウマ類	発生量：平年並 ～ やや多い	12月中旬現在，ヒラズハナアザミウマ・ミカンキイロアザミウマは平年並の発生であるが，果実に被害が出やすいミナミキイロアザミウマは，平年よりやや多い発生である。
促成トマト	オンシツコナジラミ	発生量：多い	12月中旬現在，平年より多い発生である。
促成キュウリ	褐斑病	発生量：やや多い	12月中旬現在，平年よりやや多い発生である。
	ハモグリバエ類	発生量：多い	12月中旬現在，平年より多い発生である。
	オンシツコナジラミ	発生量：やや多い	12月中旬現在，平年よりやや多い発生である。
	ミカンキイロアザミウマ	発生量：やや多い	12月中旬現在，平年よりやや多い発生である。

平成22年版果樹等病害虫参考防除例の改正点について

参考防除例は、主要な病害虫の発生生態および平年の発生状況に基づき、薬剤耐性・抵抗性の回避などを考慮し、効果的な防除時期と薬剤を選定して示しています。一方で、過度の農薬散布を防ぎ、周辺作物へ農薬が飛散するリスクを下げるためにも、スケジュール散布は避ける必要があります。そこで、参考防除例の活用にあたっては、環境にやさしい防除技術を導入した上で、病害虫防除の発生予察情報や自分の圃場における病害虫の発生状況を十分確認して、必要に応じて農薬による防除を行うようにしましょう。

参考防除例の作物ごとの主な改正点は以下のとおりです。なお、改正のあった箇所については、特に注意して防除にあたって下さい。

赤ナシ無袋栽培（表1）

- ・りん片脱落直前（4月上旬）、落花期（4月下旬）、5月中旬：パルノックスフロアブルが製造終了し、黒星病の防除を強化するため、ベルコートフロアブルに変更しました。
- ・開花直前～開花始め（4月中旬）：パルノックスフロアブルが製造終了のため、チオノック/トレノックスフロアブル*に変更しました。
- ・新梢伸長開始期（5月上旬）：ベルコートフロアブルの使用回数が増えたため、チオノック/トレノックスフロアブル*に変更しました。

ハウスナシ

- ・りん片脱落直前（3月中・下旬）、新梢伸長期（5月上・中旬）：パルノックスフロアブルが製造終了し、黒星病の防除を強化するため、ベルコートフロアブルに変更しました。

ナシ病害虫防除回数削減のトライ事例

- ・りん片脱落直前（4月上旬）、落花期（4月下旬）、5月上～中旬：パルノックスフロアブルが製造終了し、黒星病の防除を強化するため、ベルコートフロアブルに変更しました。

露地巨峰

- ・小豆粒大期：サニパーが製造終了のため、オンリーワンフロアブルに変更しました。
- ・小豆粒大期（注意事項欄）：べと病防除のために、ライメイフロアブルを追加しました。

雨よけ巨峰（表2）

- ・開花直前（5月上～中旬）、落花後：晩腐病に対する防除効果を高めるため、開花直前のパスマ

ード顆粒水和剤をスイッチ顆粒水和剤に変更し，落花後のスイッチ顆粒水和剤をオンリーワンフロアブルに変更しました。

カキ

- ・幼果期（6月下旬～7月上旬）：スパットサイド水和剤が製造終了のため，ストライド顆粒水和剤に変更しました（薬剤の商品名は異なりますが，有効成分は同一です）。

ウメ

- ・幼果期（4月中～下旬）：DDVP乳剤50が製造終了のため，ウララDFに変更しました。

リンゴ（表3）

- ・落花10日後～落花20日後（5月中～下旬）：パルノックスフロアブルが製造終了のため，チオノック/トレノックスフロアブル*に変更しました。
- ・落花10日後～落花20日後（5月中～下旬），落果30日後（6月上旬）：殺虫剤の散布回数の削減が可能と考えられたため，落花10日後～落花20日後の殺虫剤を削除し，落花30日後のダントツ水溶剤をモスピラン水溶剤に変更しました。
- ・6月中～下旬：リンゴハダニへの効果の低下が懸念されるオサダンフロアブルを，ダニゲッターフロアブルに変更しました。
- ・9月下旬（新規）：害虫の発消長調査により，晩生種では9月下旬の防除が必要と考えられたため，欄を追加しました。薬剤は，ハマキムシ類・ギンモンハモグリガ・キンモンホソガ・シンクイムシ類を対象にロディー水和剤を，炭疽病・すす点病・すす斑病を対象にストライド顆粒水和剤を追加しました。

チャ

- ・二番茶摘採後（7月上～下旬）：スパットサイド水和剤が製造終了のため，アミスター20フロアブルに変更しました。

クリ

- ・変更はありません。

*：チオノック/トレノックスフロアブルは，同一の薬剤ですが名称が異なるため，並列に記載しました。

表1 赤ナシ無袋栽培病害虫参考防除例変更点

平成21年版

時 期	対 象 病 害 虫	薬 剤 名
りん片脱落直前 (4月上旬)	黒 星 病 赤 星 病	バルノックスフロアブル インダーフロアブル
開花直前～ 開花始め (4月中旬)	黒 星 病 赤 星 病	バルノックスフロアブル
落花期 (4月下旬)	アブラムシ類 ハマキムシ類 ナシヒメシンクイ	ダイアジノン水和剤34
	黒 星 病 赤 星 病	バルノックスフロアブル スコア顆粒水和剤
新梢伸長開始期 (5月上旬)	黒 星 病	ベルコートフロアブル
5月中旬	アブラムシ類 カメムシ類	アドマイヤー水和剤
	黒 星 病	バルノックスフロアブル

平成22年版

時 期	対 象 病 害 虫	薬 剤 名
りん片脱落直前 (4月上旬)	黒 星 病 赤 星 病	ベルコートフロアブル インダーフロアブル
開花直前～ 開花始め (4月中旬)	黒 星 病 赤 星 病	チオノック/トレノックス フロアブル
落花期 (4月下旬)	アブラムシ類 ハマキムシ類 ナシヒメシンクイ	ダイアジノン水和剤34
	黒 星 病 赤 星 病	ベルコートフロアブル スコア顆粒水和剤
新梢伸長開始期 (5月上旬)	黒 星 病	チオノック/トレノックス フロアブル
5月中旬	アブラムシ類 カメムシ類	アドマイヤー水和剤
	黒 星 病	ベルコートフロアブル

表2 雨よけ巨峰病害虫参考防除例変更点

平成21年版

時 期	対 象 病 害 虫	薬 剤 名
開花直前 (5月上～ 中旬)	クワコナカイガラムシ 灰 色 か び 病	スプラサイド水和剤 バスワード顆粒水和剤
落花後	ナミハダニ カンザワハダニ フタテンヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ	コテツフロアブル
	灰 色 か び 病 晩 腐 病	スイッチ顆粒水和剤

平成22年版

時 期	対 象 病 害 虫	薬 剤 名
開花直前 (5月上～ 中旬)	クワコナカイガラムシ 灰 色 か び 病 晩 腐 病	スプラサイド水和剤 スイッチ顆粒水和剤
落花後	ナミハダニ カンザワハダニ フタテンヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ	コテツフロアブル
	晩 腐 病 さび病 灰 色 か び 病 うどんこ病	オンリーワンフロアブル

表3 リンゴ病害虫参考防除例変更点

平成21年版

時 期	対 象 病 害 虫	薬 剤 名
落花10日後～ 落花20日後 (5月中～ 下旬)	アブラムシ類 シンクイムシ類 モモチヨッキリゾウムシ ギンモンハモグリガ キンモンホソガ	モスピラン水溶剤
	黒 星 病 斑点落葉病 赤 星 病	バルノックスフロアブル
落花30日後 (6月上旬)	アブラムシ類 シンクイムシ類 ギンモンハモグリガ キンモンホソガ	ダントツ水溶剤
	斑点落葉病 黒星病・黒点病 褐 斑 病 すす点病・すす斑病	ユニックスZ水和剤
(中略)		
6月中～下旬	リンゴハダニ	オサダンフロアブル

平成22年版

時 期	対 象 病 害 虫	薬 剤 名
落花10日後～ 落花20日後 (5月中～ 下旬)	黒 星 病 斑点落葉病 赤 星 病	チオノック/トレノックス フロアブル
	アブラムシ類 シンクイムシ類 ギンモンハモグリガ キンモンホソガ	モスピラン水溶剤
落花30日後 (6月上旬)	斑点落葉病 黒星病・黒点病 褐 斑 病 すす点病・すす斑病	ユニックスZ水和剤
	(中略)	
6月中～下旬	リンゴハダニ	ダニゲッターフロアブル
(中略)		
9月下旬 (晩生種 対象)	ハマキムシ類 ギンモンハモグリガ キンモンホソガ シンクイムシ類	ロディー水和剤
	炭 疽 病 すす点病・すす斑病	ストライド顆粒水和剤

本文に記載された農薬の登録内容は、平成21年11月1日現在のものです。

・今月の気象予報

関東甲信地方 1 か月予報

(予報期間 12月19日から1月18日)

気象庁(12月18日 発表)

< 向こう1か月の気温, 降水量, 日照時間の各階級の確率(%) >

[確率]

要素	予報対象地域	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信全域	30	40	30
降水量	関東甲信全域	30	40	30
日照時間	関東甲信全域	30	30	40

[概要]

天気は, 平年と同様に晴れの日が多い見込みです。週別の気温は, 1週目は低い確立50%です。

< 1週目の予報 > 12月19日(土曜日)から12月25日(金曜日)

気温 関東甲信地方 低い確率50%

< 2週目の予報 > 12月26日(土曜日)から1月1日(金曜日)

気温 関東甲信地方 平年並の確率40%

< 3週目から4週目の予報 > 1月2日(土曜日)から1月15日(金曜日)

気温 関東甲信地方 高い確率40%

・テレホンサービス

下記の情報を24時間提供しています。リアルタイムな情報を提供するために, 病害虫の発生状況等によっては内容を変更することがあります。

電話番号: 029(226)5321

1月上旬 施設野菜の病害虫防除対策について

1月下旬 農薬の保管管理について

農薬を使用する際は

- 1 使用する農薬のラベルを必ず確認し, 適用作物, 使用方法, 注意事項等を守りましょう。
- 2 散布時には, 周辺作物に飛散(ドリフト)しないよう注意しましょう。
- 3 農薬の使用状況を正確に記録しましょう。
- 4 使用後は散布器具やホース内等に薬液を残さず, 良く洗浄しましょう。